

茨城県自衛隊家族会による勝田駐屯地研修



持続走



体力検定

茨城地本（本部長・栗秋一空佐）は令和6年9月9日（月）勝田駐屯地の支援を受け茨城県自衛隊家族会の駐屯地研修を実施した。

当日の研修内容については、新隊員後期教育課程の体力検定及び防衛館の研修、隊員食堂での体験喫食を実施した。体力検定時は気温が30度を超え湿度のある厳しい条件だったが新隊員全員が全力で検定に取り組んでいる姿を見て会員からは「懸命に検定に取り組む姿に胸を打たれた。」「教官が伴走をしながら新隊員に声を掛ける余裕のある姿に、先輩隊員たちの日頃の練成の成果を感じ、また安全を確保する隊員や救護要員が配置され安全面についても徹底されており、教育を担当している部隊に対する信頼感が深まった。」という声が多くあった。

防衛館では水戸で編成された歩兵第2連隊やペリリュー島での戦い、施設科の歴史について説明を受け展示物や資料を熱心に読んでいた。

研修の最後に勝田駐屯地隊員食堂において体験喫食を実施した。選択制のメニューに家族会の会員は驚き、女性の会員からは「誕生日メニューや、季節を感じるものなど様々な工夫がされていることに驚いた。栄養面だけでなく楽しみになるメニュー、駐屯地が隊員にとって生活しやすい環境にあることを知ることができた。」と自身の子供達の生活勤務環境を知り、自衛隊に対する理解を得ることができた。引き続き県内駐屯地の支援を受けながら自衛隊への理解を図っていく。

茨城県合同企業説明会で退職予定隊員をサポート



若年定年退職予定者面談

茨城地本（本部長・栗秋一空佐）は、令和6年9月9日（月）、ひたちなか市内の部外ホテルにおいて一般財団法人自衛隊援護協会東京支部が主催する令和6年度茨城県合同企業説明会を担任した。

本説明会は、茨城県内に再就職を希望する任期満了退職予定隊員の円滑な再就職準備のために毎年実施されており、本年度は隊員23名（陸上15名、航空8名）と併せて若年定年退職予定隊員36名（陸上19名、航空17名）が参加し、企業側は、国土交通省運輸局など官公庁や県内の企業115社が参加した。

冒頭の主催者及び本部長のあいさつに続き、参加した隊員によるあいさつの後、面談を開始した。

面談では、隊員の視野を広げて、より選択肢を増やすために自由面談が6回実施され、隊員は積極的に企業ブースを訪問して、企業担当者の説明を熱心に聞き、納得いくまで質問や自己PRに努めていた。

参加隊員からは「様々な業種・職種を知ることができた。」等の感想があった。また、参加企業からは「隊員さんの実直な姿勢に好印象を持った。」等の声が多く聞かれた。

この際、予備自衛官等制度の普及のため、予備自衛官等ブースが設けられ、隊員及び企業に対して担当者による制度説明が行われた。また、県内高校等の学校関係者に対して本説明会の研修を案内し、自衛隊における任期満了退職予定隊員に対する組織的な就職の援助に対する理解の獲得に努めた。

茨城地本は、引き続き隊員が希望する企業へ就職できるよう全力でサポートするとともに、企業に対して退職自衛官の有用性をより一層アピールしていく所存である。



参加隊員挨拶



任期満了退職予定者面談